

今どき部下への接し方・教え方研修

～今どき若手社員を理解し、効果的に育てる方法を学ぶ

■ねらい

「部下の管理や教育の方法を学ばないまま店長、マネージャーになってしまっている」、「昭和型で厳しく育てられたため今どきの若手社員にどう接して良いか分からない」といった課題や不安を解消し、令和時代に相応しい管理職のコミュニケーションと教育、指導の方法を学びます。パワハラ、モラハラを恐れずに若手社員の良い面を引き出し、上司と部下が共に生き活きと仕事をするためのプログラムです。

■テーマ概要

対象：店長・マネージャー・本部管理職

時間：半日（4時間）

人数：20名

■カリキュラム一例

内 容

■オリエンテーション

- (1) 研修の目的、目標設定
- (2) 現状課題の共有
 - ・グループディスカッション
 - ・各グループ代表者による共有

若手社員への接し方や教育方法に関する悩みや疑問点を出し合い、現状について共有する

1. 今どきの若手社員とその背景への理解

- (1) 2000年以降の社会背景と教育環境
 - 【ワーク】自分達と若者の違いを探る
- (2) 今どきの若手社員の考え方と価値観
- (3) ジェネレーションギャップ克服のポイント

昭和～平成～令和の社会背景や教育の変化を理解することで若手を受け入れるマインドを作る

2. 令和時代の上司、先輩のあり方

- (1) 若手社員に対する意識改革
- (2) 新しいリーダーシップとフォロワーシップ
- (3) 目的と目標、問題と課題の整理法

パワハラ、モラハラにならない新しい時代のリーダーシップ発揮の仕方を学び、安心して安全な部下への接し方を習得する

3. 若手社員の新しい指導・教育法

- (1) ティーチング重視の育成
- (2) 強要しない教え方
 - 【ワーク】自分と他者の性格タイプ分析
- (3) 感情的にならない伝え方
 - 【ワーク】説得力のある仕事の勘所の伝え方
- (4) 心を開放するアサーション
- (5) ケーススタディ
 - 研修で学んだ考え方やスキルを日常業務に落とし込み、実践力の向上を図る

一人ひとりの個性、人格の多様性を尊重した教え方と分かりやすい説明方法のスキルを習得する